

公開ウェブサイトグローバルに展開

プラットフォーム戦略を用い、サービスのスケーラビリティと高い費用対効果を実現しながら、31カ国で75の公開ウェブサイトをLiferayで構築。

サマリー

33カ国で事業を展開し、世界有数のリクルーティンググループであるヘイズ社は、そのビジネスモデルの規模、バランス、多様性という点において、他社とは一線を画しています。ヘイズ社は、迅速なサービス提供、事業の成長に合わせたスケールアップ、新しく柔軟なデジタルエクスペリエンスの提供が可能なテクノロジーを必要としており、これらを実現する公開ウェブサイトをLiferayで構築しました。

haysplc.com

事例概要

業界：

人材紹介

国：

グローバル

活用ケース：

公開ウェブサイト

キーワード：

エクスペリエンスの標準化、パーソナライゼーション、セグメンテーション、CMS、ワークフロー、サイトプレート、コンテンツターゲティング

“

私たちが必要としているのは、強力なCMSだけではありません。デジタルビジネスの目標を達成するためのフレームワークと共に、顧客とのタッチポイントを思い通りに構築できるプラットフォームが必要なのです。単に公開ウェブサイトをリプレースするだけではなく、カスタマーエクスペリエンスへのアプローチを根本から見直す必要があります。

ヘイズ社CIO (最高情報責任者)
スティーブ・ウェストン氏

課題

- ・ システム連携への対応
- ・ 柔軟性と一貫性を持つ最新のフロントエンド
- ・ 多言語対応
- ・ スケーリング

導入効果



短期間でのグローバル展開

31カ国にわたる75サイトを2段階に分け、12~18ヶ月で全面展開。



ITチームへの依存を軽減

誰でも簡単にフォームの作成やカスタマージャーニーの設定を行えるツールを導入し、ITチームの負担を軽減。



パーソナライゼーションを強化

ロールベースでのコンテンツ提供を実現し、利用者の利便性が向上。



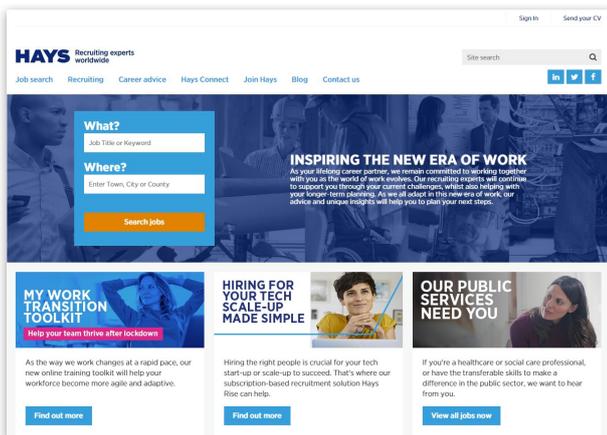
ビジネスに特化したプラットフォーム

今後のデジタルビジネスプランの策定・実行に欠かせない基盤に。

導入背景

リクルーティング業界は、競争が激しく、分刻みで候補者を斡旋します。世界有数のリクルーティング企業であるヘイズ社は、役職も企業規模も問わず、毎年100万人以上の候補者との面接を行っています。候補者とのやり取りはほぼすべて、同社の公開ウェブサイトが起点となります。こうした基盤を正しく構築することは、同社のビジネスにおいて非常に重要です。

ヘイズ社が求めていたのは、マルチサイト、多言語、CMSのWebプレゼンス以上に、デジタル戦略の中核をなすものでした。オープンソースのトレンドを取り入れ、社内ナレッジを活用して、拡張性と生産性を備えた真のプラットフォームを構築したいと考えていました。そして、製品の安定性や優秀なサポート、強力なパートナーネットワークを持つLiferayを採用しました。



ドイツでの成功により、グローバルに展開

元々は、2015年よりドイツ支社にてLiferayを導入し、公開ウェブサイトの構築に活用していました。CMSと統合し、さらにLiferayの柔軟な権限管理機能やパーソナライゼーション機能により、ルールベースでのコンテンツ提供をダイナミックかつ自動的に行うことに成功。大きな成果をあげたことから、このLiferayプロジェクトがグローバルに展開することとなり、計31カ国75の公開ウェブサイトをLiferayで構築しました。

Liferayによる付加価値向上

Liferayの開発者ツールによって、ヘイズ社のエンジニアは、ビジネスロジックに集中し、定型的な作業を減らすことができました。ビジネスチームやマーケティングチームは、ITチームに過度な依存をすることなく、様々なツールを使用してフォームやカスタマージャーニーを作成できるようになり、市場投入までの期間が大幅に短縮されました。Liferayのオープンソース基盤により、ヘイズ社のチームは真のプラットフォーム戦略を実現することができ、またLiferayの拡張性と自由度の高さにより、テンプレート化されたウェブサイトを迅速に、世界中に展開することができるようになりました。Liferayには、優れた検索機能、多言語機能、認証ツールがあり、すぐに使える (OOTB) サイトテンプレートを利用することができます。他社製品と比較すると、Liferayはコストを抑えられるだけでなく、ベンダーロックインもないため、利用企業は常に様々なシステム・ツールと連携することができます。

成長を続けるプラットフォーム

ヘイズ社は、あらゆるシステム・ツールとの統合、各ユーザーへの関連情報の提供、そしてユーザーが求める情報をすぐに見つけることができる利便性という公開ウェブサイトへのビジョンを3つもっています。手作業で行われている社内プロセスをデジタル化するという目標もあり、これらを実現するために、高い拡張性を持つLiferayを今後も活用していく予定です。